

日本指圧専門学校同窓会



会報

第3号

発行年月日 昭和59年3月31日
発行者 山内貞四郎
編集者 小林 秋朝
日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川2-15-6
〒112 TEL 03-813-7354
題字 山内貞四郎

浪越会長に叙勲の栄誉

保健衛生の功に『勲四等旭日章』



五月十六日、勲四等旭日章佩用の浪越徳治郎先生

昭和五十八年度春の叙勲受章者が四月二十九日、天皇誕生の日に発表された。生存者叙勲（春・秋）が始まってから四十回目にあたるが、今回の光栄者の中に、保健衛生の功労者として、日本指圧専門学校校長、日本指圧協会会長、日本指圧専門学校同窓会名誉会長浪越徳治郎先生が「勲四等旭日章」の光栄に輝いた。

浪越先生のこの栄光は、指圧師として五十八年、ざっと二十五万人を治療した保健功労に対するものだが、また一面には指圧という手技療法が公（おおよけ）に認知されたものとしての意義が深く、業界、同窓会挙げてこの栄誉に感激した。

浪越徳治郎先生

叙勲祝賀会

春の叙勲に保健衛生の功労者とし勲四等旭日章を賜った浪越徳治郎先生の叙勲祝賀会は薫風爽やかな昭和五十八年五月二十七日午後六時からホテル・ニューオータニ鶴の間において、日本指圧専門学校、日本指圧協会、日本指圧専門学校同窓会の三者共催で盛大に開催された。

浪越先生の栄誉を讃えて参加者は遠く九州、北海道、長野などからの指圧同志、一般友人など一千名を越える盛況——。モーニングに勲四等旭日章佩用の正装に威儀を正した浪越先生は主催者代表と共に入口に並び、入場者一人ひとりの祝福を受ける。この間約三十分——。

テレビ朝日アナウンサー棟方宏一氏の明快な司会によって午後六時二十分開幕し、日本指圧協会専務理事吉田克廣先生の開会の挨拶について、来賓を代表して元参議院議長安井謙先生が祝辞を述べられる。

次の記念品の贈呈では、日本指圧協会副会長川上春治先生、日本指圧専門学校副校長石垣惟一先生、同窓会長山内貞四郎先生、在校生代表（26期）野口伸二氏、（27期）高梨竜一氏が浪越先生にそれぞれ贈呈、花束の贈呈ではお孫さんの孝君、真美さん、順子さんの三人から、また全国賀陽会井上ひとみさん、その他大勢が続々壇上を彩る。

ここで浪越先生は「今回の栄誉は指圧業界全般の栄誉である」との感謝のあいさつを述べ、元国務大臣山田久就先生の祝辞に続いて恒例の鏡開き佐渡ヶ嶽親方、大関琴風と浪越先生は総員唱和のかけ声「ヨイシヨッ！」に合せて景気よく鏡を割る。

指圧協会顧問で衆議院議員の鳩山邦夫先生の音頭でマスコットによる乾杯で祝宴に入ったが、小原重徳とニューオータニ・ジョイフル・オーケストラによる壮大なバック・ミュージックに、百卓を越える円卓で埋められた鶴の間の大宴会場は、フルコースによるフランス料理とあつて、会場の祝賀気分はいやが上にも高潮する。

叙勲祝賀スピーチも多彩に留寿都村・上木大五良村長、佐渡ヶ嶽親方、北出清五郎氏、サム・ジェムソン氏、トニー・谷さん、山野愛子先生、藤田小乙姫先生、王子信金

ご挨拶

同窓会々長

山内貞四郎



昭和五十八年は同窓会にとって、お目出度い事が、次々と重なった素晴らしい年であった。そのお目出度い事の第一は、本会の名誉会長浪越校長先生が四月二十九日天皇誕生日の佳き日に、指圧医療に盡くされた功績により勲四等旭日章という、業界としては最高の叙勲に輝き、五月十六日には皇居豊明殿に於て陛下に拝謁を賜わり、親しくねぎらいのお言葉をいただく光栄に浴したのである。五月二十七日にはホテル・ニューオータニに於て、三者（日本指圧専門学校・同窓会・日本指圧協会）合同の主催による大祝賀会が千数百名の参加者によって盛大に行われ、浪越先生の偉大な足跡に万雷の拍手が送られたのである。指圧医療の開発、発展に盡くされた先生の永年の苦心と努力が、ここに大きく結実した結果であり、我々同窓会員は先生の建立されたこの大金子塔に一層の光りを添えるよう、お互に指圧の道に精進したいものである。

続いて七月二十二日にはホテル熱海後楽

園に於て、本会の顧問井沢正先生の米寿の祝並びに出版記念（医心方と指圧療法）の会が催され、同窓会に於てもこのお祝の会に多くの会員が参加し、井沢先生を囲んで健康の回復と出版の榮譽を称え、夜の更けるのを忘れるほどの盛況であった。

更に続いて十月一日都民の日には、日本指圧協会専務理事、本会副会長の吉田克廣先生が、東京都の保健衛生に永年にわたり盡力された功績により、知事賞受賞という金の射とめられたのである。知事賞を受くるのは至難中の至難で、再三の選考にパスした極く少数の人に限られているのである。その少数の人選の中に堂々名を連ねたのであるから、先生の大物振りの一端を示した好例であると共に、そのすぐれた緻密な頭脳に今更ながら感嘆するのみである。

先生の祝賀会は京王プラザ・ホテルに於て催され、同窓会に於ても大勢参加して祝意を表しました。

お目出度いことを思い出すのは、楽しい事である、それは明日の糧になり、励みになるからである。昭和五十九年にはどんなよい事が生れるであろうか。お三方のようなビックなお目出度さは、そう簡単にはできないが、スモールなお目出度さはこれを機縁にたくさん現われるよう念願するものであります。

同窓会のご案内

日本指圧専門学校同窓会昭和59年度通常総会は来る4月22日(日)午前10時より3時、場所、文京区、茗溪会館。総会、講演、母校心理学講師松本忠久先生、懇親会、中国料理(円卓)詳細は裏面16ページご覧下さい。



吉田克廣先生の

受賞を祝す

日本指圧協会々長 浪越徳治郎

吉田克廣先生が昭和五十八年十月一日「都民の日」に、鈴木俊一東京都知事より、多年にわたり保健衛生に貢献した功労が認められ、都民功労者として表彰されました。当然のこととは言え、込み上げる喜びを抑えることは出来ません。

吉田先生と私との出会いは昭和三十二年日本指圧学校が厚生大臣の認定校となつての第一期生として入学された時です。

海軍衛生大尉の肩書きが示す通り、帝国海軍で衛生学を叩き込まれた筋金入りの軍人です。優秀な成績で指圧学校を卒業、国家試験も見事に合格されました。その人物を見込んで私は、吉田克廣先生を日本指圧協会の理事長としてお迎えしました。

爾来二十五年、私の見込みに任いはなく、日本指圧協会の発展に文字通り身命を賭して尽され、数々の業績を挙げられました。

「月月火水木金」これは日本海軍の合言葉でした。日曜も祭日もない吉田先生の精神は、正に海軍魂の發揮です。

頭が下がります。

然し、人間の生命力にも限界があります。この度の受賞を一つの節目として、今後は健康管理に細心の注意を払い、いつまでもお元気で長生きされますよう、お祈り申し上げて祝辞と致します。

祝賀会

昭和58年度指圧道称号授与 吉田克広先生東京都知事賞受賞



祝賀会フィナーレの指圧讃歌合唱



浪越徳治郎先生とご令息に囲まれて

老化を防ぐ

足底の指圧反射点

日本指圧専門学校副校長

浪越 徹



人間は足から老化するといわれていますが、正にそのとおりで、足指や足底は心臓から遠くに離れているため血液の循環が停滞しやすく、特に歩行不足になると足に十分な血液の供給がいきわたらなくなり足の筋の柔軟性が保てなくて足が次第に老化していくわけです。

朝、靴をはいたときにはびつたりとしていたのが夕方になると、きつく感じるのは血行がスムーズにいかないために、むくみが生じて起るのです。常、日頃から歩行不足にならないよう心がけて、歩行満足を保つことです。腰、上肢、特に足底がかたくなって筋の柔軟性に欠けると、ころんだりすべったりしやすく、歩く意欲がなくなつてきますから下肢全体を十分に指圧して柔軟性と弾力性をつけて筋の屈伸力をつけるようにします。

今回は特に足底の指圧と反射点を紹介します。脊柱の両側がかたくなかなかほぐれないときは左右の足底もかたく、こわばっています。特に足底の内側、母指側は脊柱の柔軟性に関係があり、この部位をきめこまかく指圧をして柔軟にしたら、背部を指圧するとほぐれやすくなります。(図1) 足底を十分に指圧をしたあとで、足底の背屈運動(図2)、底屈運動(図3)を十分にします。さらにふみ台などによって左右のかかとの部分、足底の長さの半に体重を支えて、底屈をくりかえし、(図4)次につま先の部分で体重を支えてかかとを伸ばし背屈をくりかえします。(図5)これは足底のストレッチングになります。

次に足底の指圧反射点です。(図6、7) これらの反射点に関係する内臓や器官に異常があるときは指圧をすると圧痛点があらわれます。足底の指圧は急激にあまり強くおさずに、じっくりと持続圧で圧を浸透させるようにします。

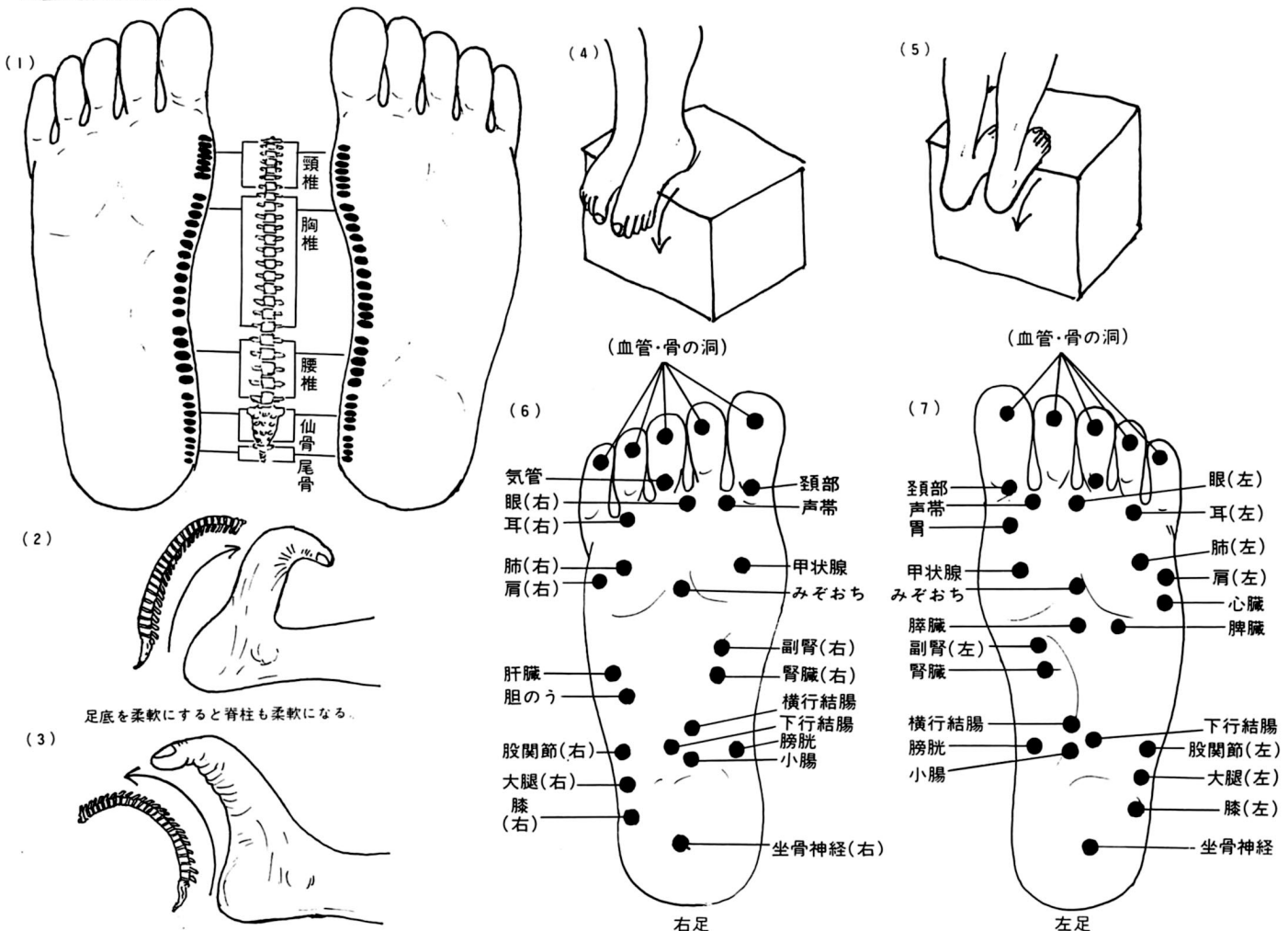
自己指圧では左足底をおすときは左膝をくの字に曲げて内反にして左手で足の甲を支えて右母指でおします。右足底はその反対です。

足底を十分に指圧することによって内臓や諸器官に反射して正常な働きを促します。また、足底が柔軟になると歩行もスムーズになります。

靴を選ぶときに、きつめのびつたりしたのや、先端の細いのをはくと、つま先や足指、足の甲の足背動脈を圧迫したり、足指や足の変形をおこすので、いくらか、ゆとりがあるくらいが良いでしょう。

足を老化させないことが若さを保つ秘訣です。さあ、足から若がえらせましょう。

足底の指圧反射点



米スペースシャトル「コロンビア」号の宇宙実験を読んで

同窓会会長
山内貞四郎

三年ばかり前に筆者の治療室が、メニエール症候群の患者で賑わったことがある。それはメニエール症候群で三週間も入院治療しても、目まい、耳なり・難聴などメニエール症候群特有の主症状が全然とれない近所の奥さんが、筆者の療院で短期間にその主症状が消失してしまったことが、いつとはなしに近所に伝わったためである。メニエール症候群の治療の手がかりは、素朴な東洋医学的方法に興味を持つ筆者の臨床体験では、肝と腎の病として捉え、それに

まいや立くらみは肝の病で起こり、耳なり難聴は腎の病によって起ると、三千年以上も前の古典素問の陰陽虚象大論の色体表に述べられているのである。この色体表のほんの一部をあげてみよう。

- 五行 木 火 土 金 水
- 五臟 肝 心 脾 肺 腎
- 五根 目 舌 唇 鼻 耳(二陰)
- 五主筋 筋 脈 腧 皮 骨
- 五色 青 赤 黄 白 黒

心の機能的障害が若干加って起こるものと判断し、これを手がかりとして指圧治療を施していく。この方法が的中するためであらうか、メニエール症候群の主症状が面白いように消えていくのを、施術者自身も不思議に思いながら治療に励んだのだった。このことは現代医学の先生方からは噴飯ものにされているようであるが、さりとて現代医学にもこれと云った手当の方法がないようである。治療期間がぜん長びくことになるのである。ご存知のように現代医学では、メニエール症候群とは、目まい、悪心、嘔吐(前庭症状)と難聴、耳なり(蝸牛症状)とが、発作的にくりかえされる症候群をいい、内耳におけるリンパ液の上昇、自律神経障害などによる循環障害が原因と考えられているのである。つまり前庭症状は平衡覚を中心とした症状、蝸牛症状は聴覚を中心とした症状であると解してよいようである。

右の表に示されている用語のすべては、名医達によって数千年の臨床経験を経て今に残されている。すぐれた臨床用語群なのである。例えば五臟の肝が病むと目あるいは筋に、腎が病むと耳あるいは骨にそれぞれ病的症状が強く現われる。肝や腎の病を治療すると、それぞれ目や筋の、あるいは耳や骨の病的症状が消えていくというのである。随ってこの色体表の用語群を研究運用していったならば、指圧治療に裨益する所大なるものがあるのではないかと思うのである。

これを東洋医学的立場から考えると、目

さて本題に話を進めさせていたごとく、昨年十二月八日発行の東京新聞朝刊に、**コロンビア号**について次のようなことが記載されていた。

平衡感覚、内耳体液対流で宇宙実験で否定。

内耳の中にある液体の対流が平衡感覚に重要な働きをしている、とのノールベル医学・生理学賞受賞者の仮説

を否定する結果が、スペースシャトル「コロンビア」で行われた実験で出た。西ドイツ・ヨハネスグーテンベルク大のパウムガルテン博士は六日、ジョンソン宇宙センターで記者会見し、無重量状態の宇宙飛行士の一方の耳に温かい液体を、また片一方の耳に冷たい液体を入れたところ、飛行士は宇宙空間では起きないはずの眼球を動かす反応を示した、と述べた。今回否定された仮説は、一四四年ノールベル医学・生理学賞を受賞したオーストリアの医学者ロベルト・バラニー博士が唱え、温度差によって起る内耳の中の液体の対流が体の傾きを脳に伝え、眼球が反応を示すという説。重力のある地上では温かい液体や気体は上昇し、逆に冷たいものは下降するのでこうした対流が起る。無重量状態の宇宙ではこうした対流運動は起きないはずだが、四人の宇宙飛行士に温度差のある液体を両方の耳に入れたところ全員が眼球反応を示した。もし仮説が正しければ無重量状態の宇宙と重力のある地上で、同じ結果は出ないはず、というわけだ。

続いて同日の夕刊に、前略……とりわけ注目されたのが、人間の平衡感覚についての実験だ。内耳の中にあるリンパ液の対流が平衡感覚に重要な働きをしているとすると、地上の科学者をびっくりさせた。後略……

高鳴るを覚えた。何故ならば、十中八九までは目まい、立ちくらみは肝の病で捉え、耳なり難聴は腎の病で捉えて、所要所に指圧治療を施せば、それほど苦勞しなくとも症状は軽快していくので、このような患者を治療するたびに、目や耳の病はそれぞれ肝や腎の病よりくるものだとする東洋医学独特の臨床経験医学を応用して、かなりの治療成績をあげている半面、西洋医学の一端を知る筆者としては、肝の病の治療で目の病が軽快する理論的根拠は、どうしてもまともには考えられない大きな疑問と矛盾を常に感じていたからに外ならない。それがコロンビア号の実験結果によって耳の平衡覚の存在に主役を演ずる論説の否定によって、若しかしたら平衡覚は西洋医学的にも肝とのつながりがあるのではないかという、革命的な希望を瞬間胸に描いたのである。もちろんこの考え方は我田引水的で、平衡覚の問題は肝よりもなお耳やその他の構造に密接なつながりがあるので、その一つ一つが否定される結果を待たなければ、東洋医学の見解の一端である、肝の障害は目の障害に連なり腎の障害は耳の障害に連なり、とする経験医学が肯定されないのである。

ともあれメニエール症候群を二、三回の治療で軽快させる指圧治療はまことにすばらしい。この指圧療法に、豊かな臨床経験の生んだ色体表を座右において行き詰った折に診断や治療に応用したならば、われわれ施術者にとって有益なばかりでなく、患者層の信頼や喜びにもつながる方法のように考えられてならない。会員諸子のご批判を切に希望する。

と編集に費いやして完成した労作でした。
また、五八年二月一日学校創立記念日に「講演と懇親の集い」を開催、一四〇名の会員が集り、校長先生と田村先生の講演を聞き、その後会食しながら、ご招待した諸先生と、久し振りの懇親のひとときを樂しむことが出来ました。

大きな事業や行事の実施には、それ相当の出費が伴うことは避けられません。これまでの蓄積が底をつき、一抹の心細さはありますが、これは無計画な労費の結果ではありません。

行事の折々、会費の他に「寄付ください」た会員有志各位に、この紙上をお借りし改めて、心よりお礼申し上げます。

卒業生数の大幅減がはつきりしている現在(将来ではない)、新入会員の収める終身会費だけに依存しているだけでは、いくら終身会費(現行五千元)を値上げしたとしても、同窓会財政を保つていくことが出来なくなるであります。

同窓会が立派に機能し、初期の目的を果し、更に発展していくため、これを支える財政の問題をどう克服していくか、これから皆さんと一緒に取り組んで参りたいと思います。

この三年間会計係に寄せられました皆様のご協力に対し、末筆ながら心からお礼申し上げます。

決算付記

収入の部

。新会員費(終身会費として一人当五千元)
五六年度 二四期生二九一名分
五七年度 二五期生二八四名分。端数が
あるのは、振替で納入した者の振替手

。総会懇親会費

五六年度 二千元×一二二名。欠席者から、千円×六名。
五七年度 二、五〇〇円×一九八名。他に来賓、会員有志から、ご祝儀。

。広告料・創立記念日会費
五六年度 会員名簿に掲載分。
五七年度 この年度は名簿の発行はなく代りに創立記念日記念行事として「講演と懇親の集い」を開催。

。会費七千円×一四〇人。その他寄付。
前年度より繰越
五六年度 貸付信託三百万円。金銭信託
二四二、八六二円。残りは郵便貯金。
五七年度 貸付信託百万円。金銭信託
四六七、一一九円。残りは郵便貯金。

支出の部

。会報発行費

五六年度 会報創刊。
五七年度 第二号発行。年度内の支払いが間に合わず、五八年五月八九七、二、三〇〇円を支払う。

。会員名簿費

五六年度 名簿作製。

五七年度 名簿発送費をこの年度の予算より出費。

。創立記念日行事費

五七年度 五八年二月一日夕カラホテル(上野)に於て「講演と懇親の集い」を開催。会員に発送した案内状に四四一、五一〇円かかった。

。渉外費

五六年度 学校増築落成祝金として三十三万円。
五七年度 校長先生喜寿の会祝金十万円。



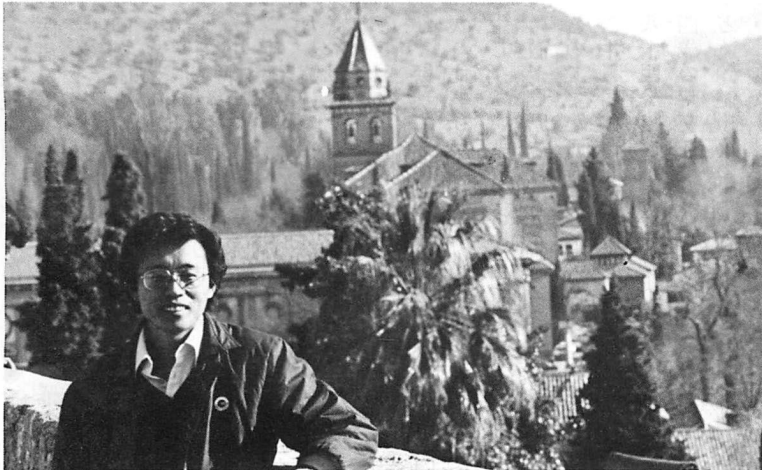
海外通信

「情熱の国」スペイン

(二十四期生) 中村晴寿

早いもので卒業より二年が過ぎようとしています。

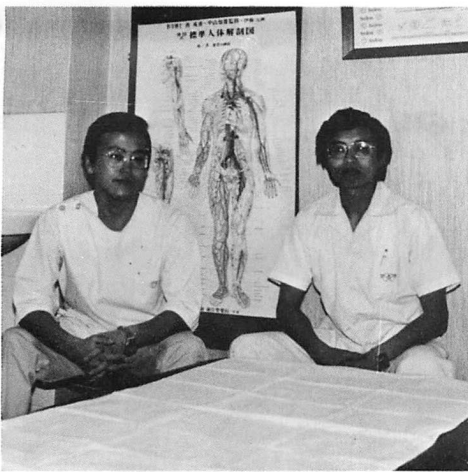
ここスペイン、バルセロナの生活にもすっかり溶け込み忙がしい毎日を送っています。バルセロナは地中海に面した、スベ



アルハンブラ宮殿にて

ン第二の都市で気候は温暖で、近くには地中海の青い海と青い空を存分に満喫できるリゾート地があり、豊富な海産物、果物等生活をエンジョイできる所です。

こちらでは私の友人で一〇年間治療所を開いている青海さんの所で治療に当たっています。一〇年間のキャリアがありまして素晴らしい治療率をあげている為、今ではスペイン全国をはじめフランスからも患者が来る程で患者が患者を呼び新患は半年待ちといった状態です。毎日夜の八時半まで治療に当り、その後は新患の電話の応対、新患は半年も待たなければならぬのでその間食事のアドバイス等を行って少しでも治療前に良くなつてもらおうと、電話でもってアドバイスしており時には十一時までかかり、その後今日と明日の患者の勉強と忙がしく、かなりの重症患者が多く、重症筋無力症、腎不全、肝硬変、その他難病、奇病等、西洋医学では治療困難な病気をも治療し、素晴らしい効果を上げております。治療に際しては全神経を集中して治療に当



青海先生と治療室にて



次男 昭雄先生と

出てきました。

徹 かえって体力がついたみたいですね

井澤 唯、おじぎができないので、このようにすると腰が痛いのです(少し前屈する)、腸腰筋を痛めているのですね、しかしこのように手はボールペンを持てるようになりました。

木下 この冬風邪などは

井澤 倒れてから一回も引いていないんですよ、指圧を受けていたからでしょう。予防医学が大切ですね、「養生訓」に医者

に罹ったり、鍼、灸をすることは下策だと書いてあるんですね、それよりも指圧して身体を平素丈夫にすることが上策だと……
小林 そういった方面の新しい本をお書きになって下さい期待しています。
徹 先生の体験とかを合せて。

井澤 今度研究会とかに発表したいと思っ
ていますし、書きたいと思っています。
「ここで井沢先生の次男昭雄先生(十一
期生)がこれら三十分談話」中略

徹 ここはバス停は「中矢切」ですが、
歌で有名になった「矢切の渡し」が近いん
ですか。

井澤 歩いて二十分ぐらいですか、渡し
場と江戸川が見えます。

藤井 先生は何回渡られたのですか。

井澤 一回もありません(ハッキリ)

徹 見る事は見たのですが……(大笑い)

井澤 スツカリ歌で有名になって。

井澤 今日「矢切の渡し」の土産を持
って帰って来ようと思っ
ています(笑い)

徹 (思わず)アッ!そうですか、それ
はどうも……(笑い)

昭雄 今日皆さんを「矢切の渡し」に案
内してあげようと車できました。

藤井 船は何人ぐらい乗れるんですか。

昭雄 二〇人ぐらいだと思います。

井澤夫人 前に乗った時は十円でしたが
今は百円でした(笑い)

木下 時間はどのくらい乗るんですか。

昭雄 時間にしてたつたの二、三分ぐら
いですよ(皆大笑い)

井澤夫人 今日徹先生の「矢切の渡し」
を聴かせてもらおうと楽しみにしていたん
です。是非聴かせて下さい

徹 是非聴かせて下さい
「矢切の渡し」 (名調子)

つれて逃げてよ ついておいでよ

夕暮の雨が降る 矢切の渡し

親の心に そむいてまでも

恋に生きたい 二人です

(二月十六日井澤先生宅にて)

指圧は指圧師



同窓会副会長
片岡弘昌
(二十一期生)

今日ほど、情報過多の時代はない。こと、
医事に関しても同様で、街の書店には「医学
コーナー」なるものが設けられ、民間療法か
ら医学書まがいのものまで、所狭ましとなら
んでいる。その多くは悩める者にとって親切
な道しるべの役に立っている。しかし中には
プロの目から見ると、すぐに「これはおかし
い、誤っている」と判かるものが、一般の人
には正しいこととして取り込まれてしま
う危険性をもったものも、また多く見うける。

ある有名な(著書が多い)鍼灸師の『図解
マッサージ奥様入門』なるもの。「写真とイ
ラストをふんだんに使い、ひと目見たら正
しいツボがわかり、正しい押し方ができる
ようにしました」と著書が自負しているよう
に、たしかに奥様受けする本である。しかし、
同書には、「圧迫法」のみで、マッサージ本
来の「擦法」の一切が省かれている。この人
本当にマッサージと指圧の技法の違いをご
存知なのだろうか。というのは、マッサ
ージといいながら「指圧法」を混用している。
マッサージの基本手技としての「おし方」も、
指圧の「おし方」も、「おす」という操作は同
じでも、前者が律動的に変化に富んだ多様
性「複合圧」となるのに対し、指圧は体幹へ
の垂直「一点圧」になっている。したがって
生体への作用機能も、あん摩・マッサージ
が直接には循環機能障害の回復であり、間

接には圧反射であるのに対し、指圧は直接
が圧反射、間接が循環促進にある。
よく「マッサージと指圧はどう違うので
すか」との患者さんの質問に、施術者自身
が「同じようなものですよ」と平気で応え
る不勉強と無責任さにはあきれかえる。マ
ッサージと称しながら、あん摩法の手技(遠
心性)を用いているといった「木に竹をつ
ぐ」でたらしめな療法が大手をふっていら
れる世の中である。

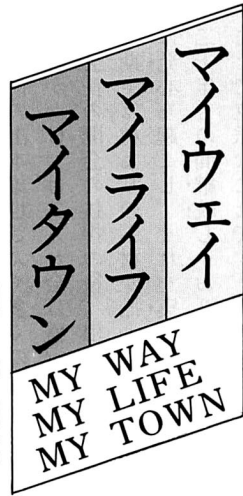
そんなことから、「皮膚を抓ればアザに
なると同じく……叩く、押す、揉むから肩
こりになる。日本にしかない、それも誤った治
療法だ」といった乱暴な(短絡的発想の)本
まで出されている。これはカイロプラクター
が書いたもので、書く方も書く方だが、書か
れる者にもそれだけの墜ちがあるといえる。

二カ年の実技教育で、あん摩、マッサ
ージ、指圧の三手技がマスターできるもので
はない。ましてや専門外の手技、例えば日本
指圧専門学校で受験のために一カ年しかも週
二時間ほどであん摩・マッサージの実技指導
を受け、受験するが、現行「あん摩マッサ
ージ指圧師法」のもとではさげられないこと。
名称が違うようにその発達過程も、施術方
法も異なるこれらの手技三法が混同されてい
る。こんな法律に甘んじている我々施術者
にも責任の一端がある。

「餅屋は餅屋」といわれるように、マ
ッサージはマッサージ師に、指圧は指圧師が
と専門分野で、それぞれに技量をみかくべ
きでそれが国民の健康保持にたずさわる治
療師の使命にサービスである。
いまこそ、「指圧師法」の制定実現をめざ
す過程として、私は、あん摩・マッサージ・
指圧の実技国家試験の選択制を提唱する。

ミスターユニバース(ロンドン大会)にも優勝、一九七六年にミスター日本とミスターユニバース(ロンドン)に2回続けて優勝をとげた世界でも屈指のボディビルダーである。須藤氏も私の指圧をうけ、とても気に入ってくれ、来たるプロユニバースコンテストの優勝を目指して私の指圧をうけながらトレーニングに励んでいる。その一方、ビルダー達にトレーニングや講演活動をしている。

ボディビルダーに指圧トレーニングをする肉の発達がスムーズになり、事故の防止にもなる。ボディビルを完成したあとでも指圧トレーニングをすることによって筋肉の老化を防ぐことができ若々しい力みなぎる筋肉を保つことができる。



(二十四期生) 関智四郎



随感私語

日記をひもといてみる
某月某日 情報源の患者さん

アナウンサー女史きたる。愛想よく迎える。何しろ近所のことを何でも知っていて、いろんな情報を流してくれる。ありがたい

が、ウツカリ返事でもしようものなら、それが又、他へ流れる。こちらも隙を見せられない。

某月某日 待つのは大人

本日また雨。来患少なし。晴耕雨読か。(注耕は手指で身体を耕す意と解す)、待つことは大変なことだ。待てるのは大人の証候で、待つことができないのはジャリと同じだと、山谷親平氏がラジオで云っていた。宜なる哉。早じまいなどしないで、気を落ちつけて待つとしよう。

某月某日 発心・実行・継続

この頃、肥満の方がよく来て、膝が痛いという。「減量をしなさいと、膝の痛みはとれませんヨ」というが、何しろ胃腸は丈夫だし、食欲旺盛な人達なので、よほどの決心をしないと減らない。「ヤット2kg減りました。ツイ昨晚ケーキを一つたべました」という。何のために減量の決心をしたのかわからない。

献立表のモデルをつくって渡し、運動や食べ方はこうするんだと指導するのだが、食欲には勝てないのであろう。発心して実行、継続するのは、むづかしいもんだとつくづく感ずる。

某月某日 骨盤は土台だ

患者さんの殆んどに、骨盤変位が多い。とくに女性に。骨盤という土台が、変位しているの、腰痛・肩・首のこり・内臓痛へと発展していく。

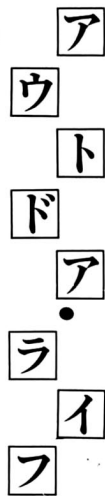
いま、骨盤を正常に矯正しても一時的で、筋肉の復元力で又元通りになる。だから、是非毎日施術して正常にしてお

きたい。とくに若い方は将来のために。しかし、時間と金が必要なのが難点で、身体に余程の自覚症状がなければ、時々しか治療に来ないのが残念。

某月某日 一億総半健康時代

横浜・川崎・横須賀三市共同で健康調査を、五十六・七年に計三回、約八万人対象に行い、「目が疲れる・いつも首・肩がこる」と訴えた人が五割「体がだるい」という人が三割、との結果がでた、と報じている。全国的にも、こんな比率であろう。元気のようにみえて働いている人が、こんな状態ゆえ、日本も今や一億総半健康と考えてもよさそう。

とにかく、少し位のことでは我慢してしまふ。トコトコ悪くなって、どうにもならなくなつてから、受療するので長くかかる。ムリをしないで早く異常を修正するとか、痛みやコリをとるとかした方がよいのに。



スポーツジャーナリスト 三ツ谷洋子

本格的なサイクリングというのは、町の中をチョコチョコと走るのは違います。道路の起伏や路面の状態によって走破する距離は異なるが、初心者または小学生でいどの子供(高学年)なら一日に五十、経験のある大人になると九十、ぐらいが目

標となるようです。

自転車に乗れるからといって、いきなりこのような長距離のツアーに出かけるのは、無茶というもの。各地のサイクリングコースで十分に足慣らしをしてから、チャレンジしたい。最近では、公園内などに無料の貸自転車を置いていたりも少なくないので、大いに利用するのいいと思う。

東京では皇居周辺や神宮外苑で日曜日に自動車を締め出して、サイクリングコースを都民に提供しており、自転車を無料で貸してくれる(場所は、前者が馬場先門交番裏、後者が日本青年館横)。このほか多摩川の丸子橋から本羽田テニスコートまでの川沿いにも、十・七のコースがあり、安あがりに家族でレジャーを楽しむにはもってこいの場所といえそう。毎日午前九時～十一時、午後一時～三時に無料で自転車を借りられる。小学校四年生以上が対象で、申し込みは京浜急行六郷土手駅から、歩いて三分のところにある多摩川緑地管理事務所(電話 東京〇三三七三一―九三三八)へ直接行って名前などをカードに記入するだけでOK。

このほか、関西地区では大阪の府民の森がある。大阪、奈良を一望のもとに見渡せる暗峠(くらがりとうげ)にある同公園の場合、自転車は有料で三時間三百円。小学校六年生以上という制限がある。大阪市内から近鉄奈良線に乗って枚岡(ひらおか)駅下車。火曜が定休日。申し込みは管理事務所(電話〇七二九一八五―六〇〇一)へ 会報編集委員達も家族連れで皇居のサイクリングコースへでかけた、各種の自転車が揃い、幼稚園児ぐらいの子供達から老人まで思う存分楽しめるコースでした。

第二十四期A組(錦絵会)

二四期A組では卒業して丸一年たった五日のメーデーに茗荷谷の茗溪会館で在学中担任の田村・木下先生も出席して総勢三十五名のクラス会を開いた。

午前中は、関、浅岡、中道、渡辺、板谷の五氏が卒業後一ヶ年の治療の中での喜びやむずかしさについて、体験談を約一時間半に亘って発表した。

正午からの宴会は田村先生の乾杯に始めて、同級生の消息発表の後、渡辺、竹内、有原、村井の多彩な進行係のリードで、お話と民謡や演歌やら仕舞など音痴からセミプロ、迷人から名人まで力一杯の実技?を披露した。

この会を今後二四期A会||錦絵会と名付けたほか、来年は小海、鶴巻温泉、松本の三候補地の中から上島大人の基地の松本市で一泊相互研究会の目的も含めて開催する事を謀ったところ、満場一致で設営準備は上島氏に依頼することにした。

午後三時半「指圧讃歌」斉唱した後、新田悦子さんの閉会の言葉で五時間にわたる懐かしの会が終った。

同館内での二次会には、満都子先生も見えて伝通院当時の尽きない話に過ぎゆく時を忘れる程だったが、再会を約して北は甲府から松本、小海に、西は富士宮から遠く福岡へと友の健康と繁栄とそして指圧道発展を祈りつつ夫々の本拠に帰っていった。

山田滋記

第二十五期A組

「やあ、しばらく」「お元氣ですか」皆んな、まるで何十年ぶりに会う友、小学生の

ように、はしゃぎ、嬉しさを隠せぬ様子である。といいますのは昨年十一月二十七日、所はホテルオークラのロビーでのひとコマであるが、私共第二十五期Aクラスが卒業以来初めての集まりであった。卒業してから約十ヶ月、ぐらいいしかはたっていないが二年間学びあった仲間、それはなんともいえぬ光景であった。当初の予定では一年ぐらい経ってかと思っていたが、多数の方から、年内にとの希望が強く開催したので、当日は校長先生始め徹先生、石垣先生に御出席を頂きました。ただ残念なこと

に我がクラス担任の満都子先生が急用の為出席出来なかったことが少し皆んなをガツカリさせてしまったことだと思う。遠方からの出席者も多く約五十名の方が出席して頂き非常に嬉しかった。出席者の約八割の方が開業されたとか。苦労話しやら又、在学中の想い出話等々に花が咲き、大変有意義な時を過ごした。ひとつ残念であった事は、連絡をしても返事のこなかった方が数名あったことである。あて先不明ならともかく、ある程度日数をかけて通知を出してあるのだからと思う。次回からは出欠席の返事だけでも良い、願うなら近況も書き添えて頂ければと思う。いつまでもいつまでも指圧の輪を広げ、友連の輪も広げていこう。

卒業以来初めてのクラス会で担任だった

木下松次郎 記

小林秋朝先生を囲んで懐旧談や、時間制限一人三分間スピーチによる、近況報告に花が咲き、鍋料理と天プラ、差し身、美酒に酔ううち午後五時過ぎ、健康と尚一層の勉強と来年の再会を誓い会い散会しました。なお一部小グループは近くに開業している同期A組の菅原政俊先生の指圧治療所にそこに勤めている飯島、木下両先生の案内で見学し、菅原先生の説明、治療中の見学等ができて大変参考になるところがあり勉強になりました。

末筆ながらC組の次回の幹事は木下、高澤両先生が選任されましたので、協力の程お願いします。

木下松次郎 記

第二十五期C組クラス会

日本指圧専門学校第二十五期C組による

クラス会が十一月十三日(日)午後三時から巢鴨駅前割烹「都」で二十名のクラス

メートが集まって行なわれた。

木下松次郎 記

かねてより懸案されていた卒業後の指圧治療の研修機関が今回、正式に設置が決定し来たる五月の中旬より日本指圧専門学校指圧治療研究センターとして開講する運びとなった。受講資格は日本指圧専門学校卒業生で免許取得者、受講期間は一週間に2日で6ヶ月間とする。講座内容は治療技術の向上、応病治療の研究、患者の臨床心理、指圧と筋の運動点、育児指圧、スポーツ指圧、美容指圧などの研究が予定されている。

日本指圧専門学校

次号の会報原稿を募集しています詳細は6ページ参照の上奮って投稿下さい。

「会報」原稿募集

「会報」原稿募集

「会報」原稿募集

「会報」原稿募集

計報

同窓会副幹事長逝く

岡本優先生



日本指圧専門学校同窓会副幹事長を務められていました岡本優先生が役務半ばにして去る昭和五十八年八月八日急逝されました。岡本優先生は旧日本指圧学校第七期生として卒業、目黒支部長、日本指圧協会理事として永年に亘り活躍され指圧界の発展に尽力されてまいりました。

昭和五十七年度より同窓会の副幹事長の要職を荷負い地道に会の発展に尽くされてきました。柔和な笑顔を絶やさず識見豊かな人格、技術を持って多くの先輩、同期、後輩の諸先生に慕われ、浪越徳治郎先生、徹先生ともよく気が合い同席されている姿が

いまでも沢山目に浮かびます。昨年春胃癌と闘病中と本人から聴かされた時、我が耳を疑いそんなことが………と打消してきた人達はどうなにも多くいたことか……。そして八月急な訃報に接した時私達は思わず、一刻一秒が苦闘の日々であったかと思わず絶句——してしまいました。同窓会、指圧界にとって計り知れない損失でありました。

ご冥福を祈り謹んで哀悼の意を表します。日本指圧専門学校同窓会役員一同

ご冥福を祈り謹んで哀悼の意を表します。日本指圧専門学校同窓会役員一同